

## ホ・ロゴス 2020年 春号



### 「キリストによる新しい歩みが始まる」

遠山信和（理事長・改革派静岡教会牧師）

28:12 すると、彼は夢を見た。先端が天まで達する階段が地に向かって伸びており、しかも、神の御使いたちがそれを上ったり下ったりしていた。

28:13 見よ、主が傍らに立って言われた。「わたしは、あなたの父祖アブラハムの神、イサクの神、主である。あなたが今横たわっているこの土地を、あなたとあなたの子孫に与える。

28:14 あなたの子孫は大地の砂粒のように多くなり、西へ、東へ、北へ、南へと広がっていくであろう。地上の氏族はすべて、あなたとあなたの子孫によって祝福に入る。

28:15 見よ、わたしはあなたと共にいる。あなたがどこへ行っても、わたしはあなたを守り、必ずこの土地に連れ帰る。わたしは、あなたに約束したことを果たすまで決して見捨てない。」

皆様、いかがお過ごしでしょうか。

今年1月に行われた理事会において、理事長に選ばれました遠山信和と申します。静岡キリスト教盲人伝道センターのことを覚えて、お祈りくださり、様々な支援をいただいておりますことを心より感謝いたします。

新型コロナウイルスの感染の広がりとともに、世界中の国々で渡航規制があったり、外出や会合、イベントなどを中止したりするような動きが出てきております。伝染する病気もさることながら、お仕事が出来ないために経済的な困難を覚えておられる方もあるのではないかと思います。多くの方々が不安や恐れを覚えているのではないかと思います。

冒頭の聖句は、ヤコブが兄エサウを騙して祝福を自分のものとしたために、エサウの怒りを受けて家を出て行ったときの出来事です。

自分が人を傷付け、裏切ってしまったために、交わりが破壊され、共に生きることができなくなり、憎しみを受け、逃亡者となって故郷を離れていかなければならなくなってしまったのです。このように、人間どうしの横のつながり、水平的な関係が、自分の罪のために破れてしまうという苦しみの中でヤコブは、垂直的な関係である神様との接触を体験したのです。人間関係に失敗し、挫折し、人生の逃亡者となっている自分の目の前に、神様の世界との人間の世界とをつなぐ架け橋が伸びているのを見たのです。この体験は彼の

人生を変えるような、大きな意味を持っていました。

私たちの人生も先が見えない旅路を歩み続けるようなものです。数か月前まではこのような社会情勢になることは全く予想できませんでした。

ヤコブもこれからの旅を始めるにあたって大きな不安と恐れを抱いていたに違いありません。そんなヤコブに神様は、彼が石を枕にして寝ていた時に、夢でこの幻を示してくださいました。それは、①神がヤコブとともにおられること、②この旅路を守ってくださること、③食べ物・着るものを与えてくださること、④無事に父の家に帰らせてくださること、の約束でした。

そして、神はこの約束の通りに、彼を守り、祝福し、導いてくださいました。それは、彼の思い通りに事が運ぶということではありません。彼はこれからも様々な困難に直面することになりますが、そのすべてにおいて神が彼の人生を守り導いてくださったのです。

ヤコブの神は、私たちをも守り、助け、導いてくださる生ける神なのです。

2020年という年は、世界中の人々にとって「試練」と思われる年になりそうですが、すべてにおいて私たちを守り導いてくださる神に、心に向けて歩み続けることが出来ますように、主がヤコブを祝福してくださったように、皆様お一人お一人を守り、祝福して下さいますようにと祈ります。



## 静岡キリスト教盲人伝道センター 2020年度理事会報告

静岡キリスト教盲人伝道センター理事長 遠山信和

2020年度は中国武漢市から始まった新型コロナウイルス広がりとともに世界中の人々が、まるで生活が一変してしまうような出来事を経験しています。一日も早く収束することが出来ますようにと願ってやみません。

今年度の理事会は、1月27日(月)日本キリスト改革派静岡教会礼拝堂において行われました。

開会礼拝は、吉原富士見教会の羽野浩雪先生より、「神にはできる」という主題での説教をいただきました。『五つの“ソラ”から「宗教改革」後を生きる』という書物からの文章を紹介していただき、人にはできないが神にはできる。神はしてくださるといふ恵みのメッセージをしていただき大きな慰めを与えられました。

理事会では、議事の最初に理事長選挙が行われ、遠山信和牧師が新理事長となりました。これまで理事長をしていただきました青山昭一郎長老と監事をしていただきました鈴木雅樹長老に心より感謝申し上げます。新しい年度の理事は以下のようになります。

理事長新任 遠山信和  
理事改選 羽野浩雪理事、三瓶忠克理事、田中敏信理事、  
島袋正直理事  
理事継続 汐沢はま理事、青山鶴江理事、川島伊作理事、  
熊田なみ子理事、伊縫智子理事、  
理事新任 吉田 隆理事、植田 悟理事  
監事新任 小谷和海監事

センターは多くのボランティアの方々に支えられ、主の善き導きのもとに現在の働きがあることを、あらためて強く思わされております。理事は11名、幹事1名です。

2019年度の職員体制は、正職員1名、パート職員4名と定期的に来て下さるボランティアの方々に業務を行っておりました。

昨年9月には、鉄道弘済会・音訳、デイジー編集部門において、馬上貴美子さん（名古屋）が表彰されました。

館長会議においては、マラケシュ条約（2019年1月1日に発効）、著作権法の一部を改正する法律（2019年1月1日発効）、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（2019年6月21日施行）が発効、施行されて、視覚障害者の方でなくても、高齢となって目が見えにくくなったような方でも、点字図書館を利用することが出来るようになりました。

センターでは、ご奉仕いただける方々のための点訳通信講座、音訳通信講座、テキストデイジー講習会などを適宜行っています。ご希望の方はお知らせください。

『テキストデイジー』とは、デイジー図書の種類で、音声ではなく、テキスト（文章）で作られます。音声デイジー図書は、音訳ボランティアの方などが本を音訳して作成されます。しかし、『テキストデイジー』は違います。録音は一切行わず、パソコンで文章を人力していだけで作成することが出来る合成音声の図書です。

テキストデータを持っておられる方々に協力をお願いしています、また、テキストデイジーのボランティアを募集しています。応募をお待ちしております。現在、ボランティアは5名です。テキストデイジーの講習会も開催したいと願っております。よろしく願い致します。

また以下の2つのことが特記事項として報告されました。

・ 「聴くドラマ聖書」について

スマホのアプリ「聴くドラマ聖書」の日本語版が完成し、新改訳聖書2017年版の創世記からヨハネの黙示録までの音声を、日本の著名な声優の方々の優れた朗読と、臨場感あふれる音響効果によって、聖書をあたかもドラマのように臨場感あふれる形で聴くことが出来るようになりました。IPHONE,アンドロイド、どちらでも無料で聴くことが出来ます。

・ 「AI TALK」(エアトーク) について

すでに多くの企業や官公庁などでも利用されているエアトーク(声の職人)というパソコンソフトがあります。これは、テキスト文書などをAIによって、かなり自然な音声で読み上げてくれるものです。男性や女性による話者を選択することもできますし、声のイントネーションを変えることもできますし、学習機能があるので読み上げをさらに正確に編集していくことが出来ます。理事会の際に皆様に実際の音声読み上げを聞いていただきましたがとても好評でした。センターでは是非このソフトを購入したいと考えていますが、法人だと購入費用に100万くらいかかります。献金によるご支援をいただければ感謝に存じます。

昨年は、皆様から706万円の献金を献げていただき、点字図書館を運営することができました。心から感謝致します。

センターは、更によりよいサービスの提供ができますように、職員・スタッフ一同励んでまいります。そして「御名をあげめさせたまえ」という主の祈りの言葉を忘れることなく、主に仕えてまいります。

図書館は音声・点字のデジタル・データ化、テキスト・デイジーの導入等、製作機材やデータ保管等、費用負担が大きくなり、苦しい運営をしております。この事業の維持・継続のために、運営に参加し支えていただけませんか。

新しい年も、よろしく願いいたします。

**2019年度 決算報告** (2019年1月~12月)

	費目	予算	決算	%
収	献金：諸教派	1,400,000	1,510,308	108
	献金：改革派	5,500,000	4,677,314	85
	献金：静岡教会	850,000	875,610	103
入	雑収入	0	554,517	
	基金繰出	0	322,410	
	繰越	447,888	447,888	
	収入合計	8,197,888	8,388,047	102
支 出	事業費	2,295,000	2,496,686	109
	対外協力費	150,000	128,000	85
	一般管理費	5,680,000	5,733,361	101
	繰越	0	0	
	予備費	72,888	30,000	
	支出合計	8,197,888	8,388,047	102

2019年度 貸借対照表 (2019.12/31 現在)

資産の部		負債基金の部	
【流動資産】	13,261,398	【一般基本金】	10,504,289
現金	232,297	【流動負債】 預り金	497,008
郵便振替	936,234	【固定負債】	
普通預金（静岡銀行）	526,334	退職給与引当金	1,559,354
普通預金（ゆうちょ銀行）	11,038,404	【基金】	12,764,390
普通預金（大垣共立銀行）	528,129	事業運営基金	6,984,953
【固定資産】	10,504,289	建物基金	4,442,589
建物	10,230,055	障害者基金	1,036,848
器具・備品	274,234	センター準備金	300,000
【その他の資産】	1,559,354	繰越利益剰余金	0
中退共掛金	1,559,354	(経常会計・次年度繰越)	
資産合計	25,325,041	基金等合計	12,764,390
		負債・基金合計	25,325,041

皆様の尊いご支援により1年間の活動が支えられ、心より感謝いたします。

\*\*\*\*\*

【2019年12月31日現在】

\*利用登録者数：407名      \*登録ボランティア数：84名

\*維持会員数： 教会・・・19教会、個人・・・28名

\*2019年度貸出ベスト3

点字『遙かなる大草原 ローラの手紙』ロジャー・リー・マックブライド編

『分断と排除の時代を生きる』中村 敏著

『わたしのアンネット アルプス物語』パトリシア・セントジョン著

音声データ - 『エレミヤ書を読もう』左近 豊著

『盲人の癒し・死人の復活』及川 信著

『始まりのことば 聖書と共に歩む日々366』片柳弘史著

2019年度 \*サピエ・ネット図書館のデータダウンロード

点字データ：延べ 859人が、425タイトルをダウンロード

音声データ：延べ 2595人が、327タイトルをダウンロード

## 2019年度 ボランティア感謝報告 **ボランティア ありがとうございます!**

今年度、製作完成図書に関わって下さった方々です。

グループ活動のみの方は個人名を省略させていただきます。

HP 公開の都合上、人数のみの記載です。

【点訳】9名、3グループ団体

【テキスト取り込み】3名

【音訳・音訳校正】40名、3グループ団体

【デイジー編集】18名

【テキストデイジー】5名

【音訳指導・通信講座】2名

【点訳指導・通信講座】2名

【その他のボランティア】1団体（点字用紙リサイクル作業・ロゴス発送作業）

＊皆様の変わらないお働きとご協力を心より感謝いたします＊

.....

## 2019年度 献金感謝報告 (2019年1月～12月)

### 維持献金・ご支援献金を感謝いたします

HP 公開の都合上、人数のみの記載です。

《個人》32名、匿名3名、16教会の維持会員

《教会・団体》16教派・60教会、改革派・101教会・5団体、その他8団体

多くの皆様の尊いご献金により、2019年度の活動が支えられました。

維持会員(一ヵ月100円～)を募集しています。

神様のご支配が小さなところから始まって、  
やがて大きく成長して行けますように祈っています。

当センターの理事であり、永年、盲婦人ホームで鍼・マッサージの施術を行っておりました汐沢はま姉は、2020年2月に体調を崩し、現在リハビリ病院で療養中でおります。そのため、盲婦人ホームは現在休院中となっています。回復のためにお祈りいただけましたら幸いに存じます。



以上、感謝をもってご報告させていただきます。

2020年4月 静岡キリスト教盲人伝道センター

〒422-8041 静岡市駿河区中田1-5-21

TEL 054-285-0496 fax 054-285-0746

Eメールアドレス shizumouden@dct7.net